

「出題の意図」

<p>選抜区分</p>	<p>2022年度 (選抜区分：一般前期) 文学部 人間関係学科 (科目名：小論文)</p>
<p>出題の意図 (評価のポイント)</p>	<p>1. 出題の背景・求める能力 文章そのものはさほど難しくはないが、よく読まなければ著者の意図を理解することが困難な課題文を選んだ。初めて知った新しい知見を、試験時間内にどれだけ正確に理解し、適切に問いに答えることができるのかをはかっている。問いから外れた記述や、課題文を十分に読み取れていない解答は、評価に結びつきにくい。</p> <p>2. 解説(解法) 小論文では、課題文を読んだ上で以下のような問いをたてた。この解説では問題文に加え、解答に関わる論点 a-d を追記している。</p> <p>問 著者は、心身問題を理解するためのひとつの思考実験を提案している。まず、下線部①について、この記述は<u>どういうことをさす</u>^(a)のか、そして<u>なぜそう言えるのか</u>^(b)についてわかりやすく説明しなさい。その上で、この一連の論考のなかでとりあげられている体験、現象、主観、客観などのキーワードを手がかりにして、<u>他者を理解することの難しさを説明</u>^(c)し、それを乗り越え、<u>他者理解を可能にするための方法について、具体的なアイデア</u>^(d)を考え 1000 字以内で述べなさい。</p> <p>(a) どういうことを指すのか、(b) なぜそう言えるのかの説明を求めている。 (a) は下線部の説明を求めている。たとえば「人間に固有の物の見方を減らすことで、事物の本性をより正確に知ることができ、より客観的に対象を記述できるようになること」など。(b) は下線部の前後を要約して解答する。たとえば「わたしたちが外の世界を理解するために、まずは各自の感覚器官に依存するが、そのむこうには実際の事物がある。したがって、たとえ異なる視点を持っているとしても、現象学的な見方をするので、同じ事物について考えることが可能であるから」など。</p> <p>ここまでは小論文を書くための補助的な導入であり、基本的な現代文の設問形式である。引用や読み替えについては内容が間違っていなければ、記述はどのような形でもよい。(a)(b)ふたつを分けず、併せて記述されていても構わない。この二つの説明がしっかりできれば、後半の論述が書きやすくなるだろう。</p> <p>(c) 他者を理解することの難しさについては、本文の内容に沿っておおよそ以下のような内容が書かれていればよい。ここでは主に本文の理解と、論理性の能力をみている。 個人あるいは種に固有の視点への依存度を減らすことによって客観的な理解は進む。しかし、多くの体験は通常ひとつの視点からしか把握されない。こ</p>

こからそれぞれの主観的な理解と客観的な理解のギャップが生まれてしまう。このように、体験そのものに客観性を持ち込み、他者の視点を獲得するということは、ヒトがコウモリの視点を獲得することと同じような困難さをとまなう。

(d)他者の理解を可能にするための方法については、本文にある以下の考察を理解した上で、それに沿った具体的なアイデアが示されていけばよい。ここからが実際の小論文である。ここでは主に独創性や創造性についての能力をみている。

わたしたちは体験による主体的な視点と想像力に頼る以外には、物事を考えることができない。他者を理解するためには、主観的な体験の少なくとも一部でも、その体験をもっていない者にも、わかるように記述されることがひとつの目標である。

複数の視点から見えるものを、見えるままに記述することによって、主体的な体験はさまざまな側面から記述することができる。そこから、これらの体験によって示されている問題を、もっとわかりやすい問いに作り替えることができる。このような現象学的な理解によって、いくつかの客観的な説明の候補ができあがるだろう。

心身問題を正しく考える上ためには、精神(思っていることや客観的な概念)と身体(体を通して得られた個別的な体験)を分けることなく理解していかなければならない。

➤ 受験生への情報提供

前半部の問いはおおむねよく書けていたが、評価の比重は小さいため、実際にはここでの差はつきにくい。それに対して後半部の問いは小論文のメインとなっており、評価の比重が高く、しっかりと書けている人とあまり書けていない人の差がついた。内容的に多少理解が難しくても、問われていることに対して、正確に答えようとしている姿勢が見られる解答が、全体的に高い評価を得ている。

また、あらかじめ準備をしてきた題材を無理に使っているためか、論点がずれてしまっている解答も散見された。試験の場で与えられた課題文をもとにアイデアを考えて論を組み立てることは、小論文の基本であると考えて欲しい。